

スクール TELL!! メール

Vol.15

目指せ!! 自己ベスト!!

鹿屋東中学校 陸上部



▲肝属地区総体に参加した鹿屋東中学校陸上チーム(陸上部+学校代表で構成されている)



▲肝属地区総体で獲得した優勝旗

5月22日に開催された「肝属地区総体」では、男子が団体優勝、女子が2位となり、男女で総合優勝をすることができ、延べ29種目で県総体の出場権を獲得しました。県総体まであと少しですが、自己ベストを目指して、みんなで練習に励んでいきます。

鹿屋東中の陸上部は、3年生15名、2年生5名、1年生18名の計38名で活動しています。陸上部の練習は週5日程度で、主に学校で練習を行います。陸上競技専用の施設「ジャパニアスリートトレーニングセンター大隅(大崎町)」を利用することもあります。



部長 荒武 だいichi さん(3年生)
あらたけ だいいち

公民 地理 歴史 文化 文化財 まちづくり 人物 その他

かのや風土記の中身をさらに深掘り

鹿屋街道

第15路

岡崎古墳群



▲岡崎古墳群

3〜4世紀の日本では、権力の象徴として「古墳」が近畿地方を中心に盛んに築造されました。様々な形の古墳のうち大仙陵古墳のような前方後円墳も日本各地に造られるようになります。

志布志湾に面した肝属平野一帯では、塚崎古墳群(肝付町)、横瀬古墳(大崎町)、飯盛山古墳(志布志市 ※現在は消滅)など、多くの前方後円墳が見られ、特に唐仁古墳群(東串良町)の唐仁大塚古墳は全長180mもの大ききで県内最大の前方後円墳です。また、鹿屋市でも串良町の岡崎古墳群に前方後円墳が2基見つかっています。これは、大和政権とのつながりがあったということの意味します。岡崎古墳群は5世紀前半のものから見られており、1985年からの調査で、住宅横や竹林の

中に、12基の古墳がこれまで確認されています。中でも15号墳は全長25mの帆立貝型の前方後円墳で、石棺の内外からは甲冑片やヒスイ製の勾玉なども出土しています。また、前方後円墳のくびれ部に、地下式横穴墓が造られているという珍しい例も見られました。串良町の立小野堀遺跡や町田堀遺跡でも大規模な地下式横穴墓群が見つかったり、大和政権に従いながらも鹿兒島、宮崎だけに見られる伝統的な地下式横穴墓を造っていたことには強い意思が感じられます。



▲勾玉と管玉

さらに岡崎古墳群からは、朝鮮半島で作られたと考えられる鉄錠、U字形鍬鋤先などの鉄製品や琉球のイモガイ製貝釧などの副葬品が良好な状態で見つかっており、古墳時代の交易が朝鮮半島や琉球など、広範囲に及ぶ地域とつながっていたと考えられています。出土品の一部は串良ふれあいセンターに展示してありますので、太古のロマンを感じに見学してみたいかがでしょうか。